

NEC
PC-9800シリーズ

ビジュアル統計ソフト

Stat Flex スタートフレックス

USER'S MANUAL

図説要点ガイド

データ入力から検定までのフローチャート

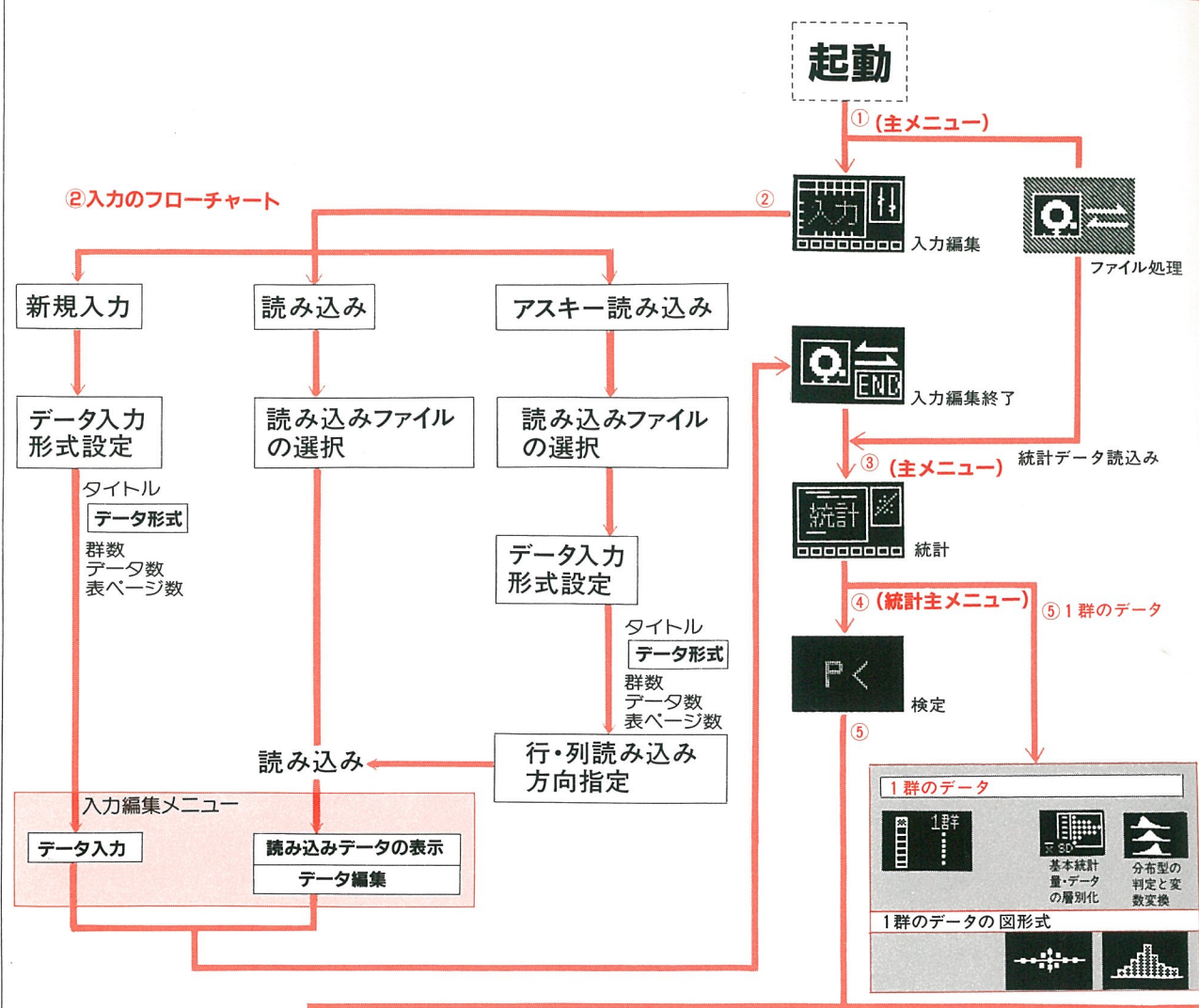
- ・図説A：主メニュー機能
- ・図説B：入力編集機能
- ・図説C：統計主メニュー機能
- ・図説D：検定メニュー
- ・図説E：統計情報の編集出力機能
- ・図説F：ディレクトリの使い方
- ・図説G：グラフ処理機能

 ViewFlex

- MS-DOSは米国マイクロソフト社の登録商標です。
- StatFlexは㈱ビューフレックスの著作物でありStatFlexにかかる著作権その他の権利はすべて㈱ビューフレックスに帰属いたします。
- StatFlexは㈱ビューフレックスの登録商標です。
- 本ソフトはLattice社のLattice C Compilerを使用し、ライフボード社の開発ツールC-TOOL/98とPhoenix社のP Link86 Plus Linkerの一部を利用しています。
- 本ソフトの一部または全部を㈱ビューフレックスの書面による許可なく複写・複製・改変することはその形態を問わず禁止いたします。
- 本プログラム及び本マニュアルの内容は予告なく変更することがあります。
- このStatFlexで用いた統計処理法ならびにこの解説で記した専門用語は、南江堂刊「バイオサイエンスの統計学：正しく活用するための実践理論」(市原清志・著)に準拠しています。それらの詳細は、同書をご覧ください。
- ©1990㈱ビューフレックス 特許申請中

 ViewFlex

データ入力から検定までのフローチャート



※データ形式の概念 StatFlexでは統計処理系列に沿ってデータをあらかじめ分類しておく方式をとっています。データ入力時には、目的とする統計処理にマッチしたデータ形式を指定してください。

データ形式	分布イメージ	表形式	データ例
-------	--------	-----	------

1群のデータ(データ形式1~3のいずれも可)
1変量かつ1群のデータに関するもの
データ形式に依存

データ形式1
独立した2~多群に関するもの
(群間のつながりのない、1変量のデータ)

k群(分類)		ページ3 GOT			
A	B	C	健康人	疾患A	疾患B
データ数n ₁	n ₂	n ₃	健康人	疾患A	疾患B
1	2	3	健康人	疾患A	疾患B
2	3	4	健康人	疾患A	疾患B
3	4	5	健康人	疾患A	疾患B
4	5	6	健康人	疾患A	疾患B
5	6	7	健康人	疾患A	疾患B

データ形式2
関連した2~多群に関するもの
(群間につながりのある、1変量のデータ)

k群(分類)		ページ3 GH			
A	B	C	0分	30分	60分
データ数n ₁	n ₂	n ₃	0分	30分	60分
1	2	3	0分	30分	60分
2	3	4	0分	30分	60分
3	4	5	0分	30分	60分
4	5	6	0分	30分	60分
5	6	7	0分	30分	60分

データ形式3
2変量以上のデータに関するもの

p変量		ページ4 疾患C			
x	y	z	血糖	コレステロール	GOT
データ数n ₁	n ₂	n ₃	血糖	コレステロール	GOT
1	2	3	血糖	コレステロール	GOT
2	3	4	血糖	コレステロール	GOT
3	4	5	血糖	コレステロール	GOT
4	5	6	血糖	コレステロール	GOT
5	6	7	血糖	コレステロール	GOT

データ形式4
計数値データに関するもの

要因B: m分類		男		女	
A ₁	B ₁	B ₂	循環器症状		
A ₂			消化器症状		
A ₃			筋症状		
			発熱		

データ形式1

独立2群の統計処理

- 二標本t検定
- Mann-Whitney
- 等分散
- 二標本t検定
- Mann-Whitney検定
- 等分散の検定

独立多群の統計処理

- 一元配置分散分析
- Kruskal-Wallis
- 分散の均一性の検定
- t-MW-F
- 一元配置分散分析
- Kruskal-Wallis検定
- 分散の均一性の検定
- t-MW-F行列

データ形式1の図形式

データ形式2

関連2群の統計処理

- 一標本t検定
- Wilcoxon
- 符号
- 一標本t検定
- Wilcoxon符号付順位和検定
- 符号検定

関連多群の統計処理

- 二元配置分散分析
- Friedman
- 分散の均一性の検定
- t行列
- Wilcoxon行列
- 二元配置分散分析
- Friedman検定
- 分散の均一性の検定
- t行列
- Wilcoxon行列

データ形式2の図形式

データ形式3

2変量データの統計処理

- 直線回帰・相関係数
- 二次多項式曲線
- Spearmanの順位相関係数

多変量データの統計処理

- 相関行列
- 順位相関行列
- 偏相関行列
- 重回帰
- 主成分
- 判別関数
- 相関行列
- 順位相関行列
- 偏相関行列
- 重回帰分析
- 主成分分析
- 判別分析

データ形式3の図形式

データ形式4

計数値データの統計処理

- 比率的検定
- CTRL + T
- 二項確率
- ポアソン確率
- Fisherの直接確率計算法
- 2x2分割表
- 1xm分割表
- 母比率の検定
- 2つの比率の差の検定
- 主メニュー簡易計算で直接検定

データ形式4の図形式

図説A：主メニュー機能

統計主メニュー

統計主メニュー [GOT] 形式 [] 行数 [] 選択 [] 5群

統計主メニュー

統計主メニュー

総合ガイド
データ編集機能
統計(検定)機能
グラフ処理機能
統計情報編集出力機能
簡易計算機能

- f-1 ファイル入出力処理
- f-2 データ入力編集
- f-3 統計
- f-4 簡易計算
- f-5 統計表の表示
- f-6 オプション設定
- f-7 操作ガイド
- f-8 サンプルデータ発生
- f-9 データ表出力
- f-10 システム終了

統計データ読込
統計データ保存
ディレクトリ表示
ファイルコピー
ファイル削除
ファイル名変更
バックアップファイル復活
パス名(ディレクトリ)管理

電卓・カレンダー
基本統計量
t/Mann-Whitney
Pairedt/Wilcoxon
相関数/順位相関係数
分割表(χ^2 検定)
比率の検定

t分布表
 χ^2 分布表
F分布表
符号検定表
Wilcoxon検定表
Mann-Whitney検定表
Friedman検定表
相関係数表
Spearman順位相関係数
Kruskal-Wallis検定表
尖度検定表
歪度検定表
スミルノフ棄却検定表

システムオプション

システムオプションの設定 頁切換=SPACE 中断=ESC 終了=END 説明=HELP

検定情報 記録保存	ON	しない
縮小印刷	ON	しない
データ表印刷の枠組み	ON	しない
統計内の自動グラフ	ON	しない
確率分布図の自動描画	ON	しない
統計表の自動表示	ON	しない
グラフ処理の取消 UNDO	ON	しない
文字表示色	黄	淡青 緑

システムオプションの設定 頁切換=SPACE 中断=ESC 終了=END 説明=HELP

ユーザファイルのパス名	[B:]
作業用ファイルのパス名	[]
ディレクトリ形式	期間制限 する しない
何ヶ月前	[0]
並換条件	時間 拡張子
並換方向	降順
表示形式	ファイル名+時間 ファイル名+時間+付加情報
プリント形式 機種	NEC10インチ系 NEC10インチ系 NEC NM系 17インチ系 17インチ系

HELP キーを押すと各画面に対応した機能の概要・キー操作ガイドが画面に出ます。(これは各ヘルプメニューに共通の画面です。)

主メニュー 前頁= [] 次頁=SPACE [] 中断=ESC

データ入力

- 新規入力、保存データ読込、ASCII形式データの読込
- 保存データ直接読込 (メニューでファイル名を選択)
- 検定法を先指定した簡易入力・計算 (電卓機能を含む)

統計・表出力 → データ入力後実行可

その他 → 常時実行可

主メニュー 前頁= [] 次頁=SPACE [] 中断=ESC

- ファイルの入出力処理 → プログラムメニューで選択。ファイルのコピー(COPY)、消去(DEL)、名前変更(REN) 自次の表示(DIR)など、MSDOSの機能が実行できます
- データの読み込み → 入力形式は、(1)新規入力、(2)過去のデータの読込 (3)他のデータ形式からの読込(ASCII形式)
- 統計処理 → あらかじめ入力メニューで、データを入力して下さい
- 簡易計算 → 検定法を先指定して、すばやく入力・計算できます(データ総数は100以内)。電卓計算、カレンダー機能が付属しています。
- 統計表の参照 → プログラムメニューで選択。主要な統計表を一覧できます。

便利キーの一覧 前頁= [] 次頁=SPACE [] 中断=ESC

共通キー操作

次頁→SPACE 中断→ESC 終了→END / []

中移動→SHIFT + 矢印キー 大移動→CTRL + 矢印キー

その他の便利キー

- 確率計算・前回統計表の再表示 → CTRL+T
- 確率密度曲線の再表示 → CTRL+B
- 処理を終了してジャンプ → CTRL+D
- 統計情報のメモリー保存 → CTRL+O
- 画面の消去 → HOME
- 操作ガイドの表示・切り換え → CTRL+G
- キーの説明表示 → HELP
- 直前操作の繰返し → CTRL+R
- 直前操作の取消 → CTRL+U

主メニュー 前頁= [] 次頁=SPACE [] 中断=ESC

- システム設定 → 設定画面が現れます。(1)統計画面のグラフの形式が指定できます (2)入出力装置の指定
- 操作ガイド → 本システムの各部の機能を図式的に概説
- サンプル → デモンストレーション。乱数によりデータを自動設定します。各パターン毎のデータに対する、統計処理をお試し下さい。
- データの一覧表の印刷 → 縮小印刷でコンパクトに印刷できます。
- 終了 → プログラムを終了します。ファイル処理メニューで、データを保存しておいて下さい。

f-1 ~ f-10 はキーボード上のf-1からf-10のキーに対応しています。

【データ表】

印刷範囲 : [1-] [1] 頁 - [] 頁

枠組み : つけない

印刷モード : 標準印刷

印刷密度 : ぎっしり ゆったり 任意

用紙のサイズ : B5横 A4横 B4横 A3縦 10インチ 15インチ

用紙のタイプ : 標準用紙 単票(カク)紙

1行文字数 [16-112] [80] 文字 字間 [0.4] mm

1行行数 [3- 85] [50] 行 行間 [1.7] mm

上端マージン [0-125] [20] mm

下端マージン [0-125] [20] mm

左端マージン [0- 83] [20] mm

右端マージン [0- 83] [20] mm

プリンタ機種 : NEC15インチ(PR201)系

【各形式に応じたデータを乱数で発生】 中止=ESC 終了=END

データの形式(下図 1-4) : [3]

変数の数 [列の数] (1 - 931) : [3]

データ数 [行の数] (2 - 2439) : [50]

表のページ数(枚数) (1 - 48) : [1]

第1ページ 第1列 : 平均値 [47.530] 偏差値 [10.000]

第1ページ 第2列 : 平均値 [44.500] 偏差値 [6.5600]

第1ページ 第3列 : 平均値 [81.020] 偏差値 [9.4400]

図説B：入力編集機能

レイアウト表示

	1	2	3	合計
	A群	B群	C群	
1 前	26	24	18	68
2 後	65	30	36	131
3 1日	60	45	30	135
4 2日	30	32	23	85
5 3日	22	25	24	71
合計	203	156	131	490

ページ変更
群(列)名の入力
データ(行)名の入力
ページ名の入力
変数属性の入力
タイトルの入力

→桁揃えモード
→入力方向表示

f-1 メニュー1 編集処理	f-2 メニュー2 ブロック処理	f-3 メニュー3 属性入力	f-4 入力形式 の設定	f-5 除外値 指定	f-6 以下 指定	f-7 以上 指定	f-8 欠測値 指定	f-9 ユーザー指定1 (水色反転表示)	f-10 ユーザー指定2 (緑色反転表示)
----------------------	------------------------	----------------------	--------------------	------------------	-----------------	-----------------	------------------	----------------------------	-----------------------------

保存

編集終了
データ更新
編集中断
データ読込
ファイル処理

ディレクトリ表示
ファイルコピー
ファイル削除
ファイル名変更
バックアップファイル復活
パス名(ディレクトリ)管理

主メニューへ(図説A)

設定画面1

データ編集オプションの設定 頁切換=ESC 中断=ESC 終了=END 説明=HELP

入力方向: 縦方向 横方向
グラフの表示: 表示する 表示しない
群(列)名: 表示する 表示しない
データ(行)名: 表示する 表示しない
列合計: 表示する 表示しない
行合計: 表示する 表示しない
桁揃え表示: 揃える 揃えない
小数位の自動設定: する しない
編集終了時の行先: F10キー 統計

設定画面2

データ編集オプションの設定 頁切換=SPACE 中断=ESC 終了=END 説明=HELP

自動属性設定の形式: 数値+NNNE

群(列)名: 0
データ(行)名: 0
ページ名: 0
カラムの移動幅(中移動時): (5)

複製
移動
表拡張(挿入)
表縮小(削除)
データ消去
アスキー読込
アスキー書出
表計算入力
並べ換え
行、列入換
復活(CTRL U)

データの入力と編集 前頁=↑ 次頁=SPACE(↓) 中断=ESC

- ROLLUP = 前ページへ ROLLDOWN = 次ページへ HOME = 表の左上隅へ
- SHIFT + → = 右横のセルへ (CTRL+D)
 SHIFT + ← = 左横のセルへ (CTRL+S)
 SHIFT + ↑ = 5行上のセルへ
 SHIFT + ↓ = 5行下のセルへ
 SHIFT + DEL = セル消去 (CTRL+Y)
- CTRL + → = 表の右端セルへ (CTRL+F)
 CTRL + ← = 表の左端セルへ (CTRL+A)
 CTRL + ↑ = 表の上端セルへ (CTRL+W)
 CTRL + ↓ = 表の下端セルへ (CTRL+Z)
- SHIFT + f.1 = データ(行)名の入力
 SHIFT + f.2 = 群(列)名の入力
 SHIFT + f.3 = ページ名の入力
 SHIFT + f.4 = 変数属性の入力
 SHIFT + f.5 = データ属性自動入力
 SHIFT + f.6 = 入力方向切替 今は[縦入力]
 SHIFT + f.7 = グラフの表示ON/OFF 今は[ON]
 SHIFT + f.9 = USER-1 の検索
 SHIFT + f.10 = USER-2 の検索
- 再表示 = GRPH

グラフ
入力に連動してリアルタイムにグラフ表示。
大きくはざれるとピット鳴ってGRPH/ができます。
GRPHキーで解除再計算してグラフを書き直します。

データ形式と入力表サイズ

データ形式1

p = ページ数 = 変数の数
k = 列の数 = 群分類...ページによらず一定
n = 群別データ数 n_i の最大値...ページによらず一定、n_i はいずれも 2 以上 (i = 1, 2, ..., k)

データ入力用表サイズ(内部メモリ)

注意: 列のデータ数がアンバランスであると、メモリーに無駄ができます。

データ形式2

p = ページ数 = 変数の数または要因の水準数
k = 列の数 = 群の数、または列要因の水準数...ページによらず一定
n = 行の数 = データ数、または行要因の水準数...ページによらず一定、n は 2 以上必要

データ入力用表サイズは入力するデータと同じか、それより大きく設定します。

データ形式3

n = 行の数 = データ数...データ数(n_i)はページ(群)ごとに可変、n はその最大値、n_i はいずれも 2 以上 (i = 1, 2, ..., k)
p = 列の数 = データ数...ページによらず一定
k = ページ数 = 群の数

データ入力用表サイズ(内部メモリー配置)

注意: データ数がページごとに違うとメモリーに無駄ができます。

データ形式4

p = ページ数 = 常に 1
c = 列の数 = 列要因 B の分類数 (群数に相当)
r = 行の数 = 行要因 A の分類数 (データ数に相当)

データ入力用表サイズは入力するデータと同じか、それより大きく設定します。

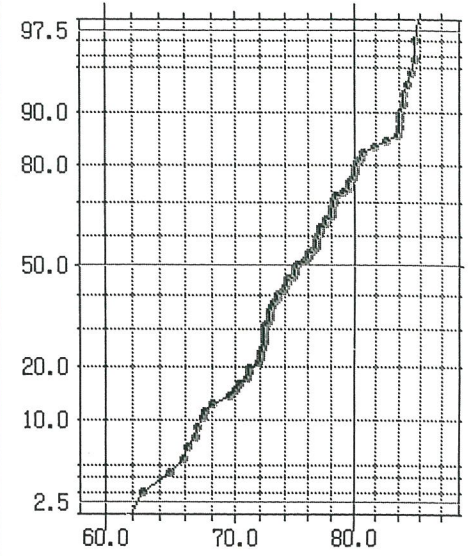
データが単一群のときのデータ形式

▶ 計数値のとき → データ形式 4
▶ 計数値でないとき → データ形式 1 ~ 3 のいずれでも可能 データ名の必要性、将来表を拡張する場合を考えて設定

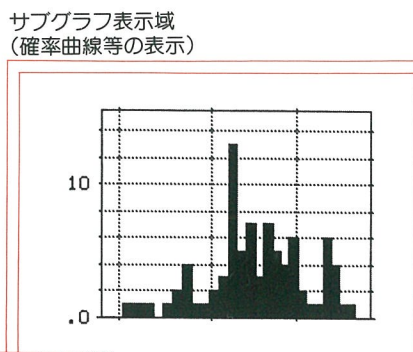
データ形式1
データ形式2・3

図説C：統計主メニュー機能

群名	N	MEAN	SD
1) 新生児	83	75.445	5.974
2) 小児	85	75.386	5.802
3) 成人	90	75.403	5.317
4) 高齢者	91	73.540	6.068



- 七分布表
- F分布表
- 符号検定表
- Wilcoxon検定表
- Mann-Whitney検定表
- Friedman検定表
- 相関係数表
- Spearman順位相関係数表
- Kruskal-Wallis検定表
- 尖度検定表
- 歪度検定表
- スミルノフ棄却検定表



分布型の判定と変数変換

終了 続ける 登録 図のエ

Navigation bar with icons for P, SD, and various statistical functions. Includes buttons for '編集', '印刷', '前画面', and 'MEMO'.

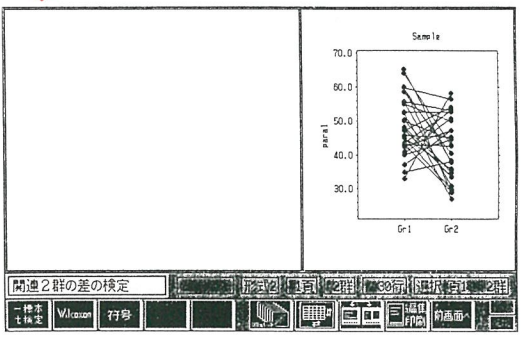
Function menu (f-1 to f-10):

- f-1 検定
- f-2 基本統計量
- f-3 分布型の判定と変数変換
- f-4 統計表参照
- f-5 群選択
- f-6 グラフ処理
- f-7 データ表の参照
- f-8 画面切り換え
- f-9 統計情報の編集・出力
- f-10 前画面へ

基本統計量
データの層別化

変数変換の指定/確率紙=べき乗変換指定
群別95%信頼域の表示
正規性の検定/尖度・歪度
飛び離れた点の判定と棄却=点の除外・復活

情報記録
モード表示



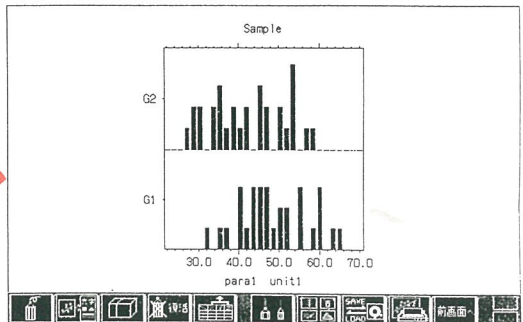
統計情報の編集と出力

```

<< 一標本t検定 >> : paired t test
t値 = 2.5771 df = 29 (両側確率P=0.0153)

<< Wilcoxon 検定 >>
T値 = 117.00 (有効データ数 = 30)
正規近似可 z = 2.365 (両側確率 P=0.0180)

<< 符号検定 >>
+の数 = 21 -の数 = 9 (n=30 : 有効データ数 = 30)
正規近似可 z = 2.008 (両側確率 P=0.0446)
    
```



ページ設定
群数設定

群選択: 1群= [1] 2群= [2] 3群= [3] 4群= [4]

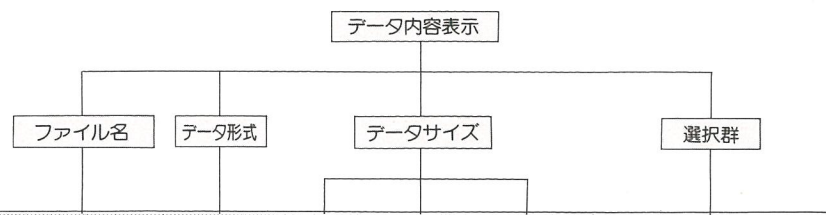
群番号を指定して下さい: 終了=

図説D：検定メニュー

<< 二元配置分散分析 >>

	偏差平方和	自由度	不偏分散	F値 (P)
列間変動	171.439	2	85.719	0.935 (0.4046)
行間変動	3507.289	14	250.521	2.732 (0.0114)
残差変動	2567.702	28	91.704	
総変動	6246.429	44		

P 正確な確率を表示
します。



関連多群の差の検定: test 形式2 1頁 3群 15行 選択 頁1 3群

二元配置分散分析 Friedman 分散均一 t Wilcoxon

Function menu (f-1 to f-10):

- f-1 検定メニュー
- f-2 検定メニュー
- f-3 検定メニュー
- f-4 検定メニュー
- f-5 検定メニュー
- f-6 有意差ジューション
- f-7 データ表の参照
- f-8 画面切り換え
- f-9 統計情報の編集と出力
- f-10 前画面へ

検定メニューはデータ形式・群数で変化

ユーザーのデータに最も近いスケールで有意差をシミュレートします。

図説E

表示文字サイズ: 標準 縮小2 縮小3

データの参照: 形式2 1頁 3群 15行 選択 頁1 3群

<< 二元配置分散分析 >>

	偏差平方和	自由度	不偏分散	F値 (P)
列間変動	553.200	3	184.400	1.041 (0.3902)
行間変動	817.713	9	90.857	0.513 (0.8521)
残差変動	4781.953	27	177.106	
総変動	6152.776	39		

<< Friedman検定 >>

	χ ² 値	k	N
列間変動	7.3200	4	10
行間変動	6.4091	10	4

χ²近似: χ² = 7.320 df = 3 (上側確率 P=0.0624)
χ²近似: χ² = 6.409 df = 9 (上側確率 P=0.6984)

便利キー解説

●CTRL+T 確率の計算 分布: 正規 t χ² F 2項 ポアソン 前回の表

●CTRL+B 前回の確率密度曲線図を再表示

●CTRL+O 検定情報の記録を切換

●CTRL+Q 関連2群の差の検定 中断ですか? 登録 主メニューへ 編集へ システム終了

一標本t検定 Wilcoxon 符号

中断して他のメニューへ移行

図説E：統計情報の編集・出力機能

<< 二元配置分散分析 >>

	偏差平方和	自由度	不偏分散	F値 (P)
列間変動	553.200	3	184.400	1.041 (0.3902)
行間変動	817.713	9	90.857	0.513 (0.8521)
残差変動	4781.863	27	177.106	
総変動	6152.776	39		

<< Friedman検定 >>

	χ^2 値	k	N	χ^2 近似
列間変動	7.3200	4	10	χ^2 近似: $\chi^2=7.320$ df= 3 (上側確率 P=0.0624)
行間変動	6.4091	10	4	χ^2 近似: $\chi^2=6.409$ df= 9 (上側確率 P=0.6984)

カーソルキーで上下左右に画面をスクロールできます。
[SHIFT][CTRL]キーを同時に押すと画面の動きが速くなります。

カーソル位置表示 統計情報記録用残りメモリー

統計情報の編集と出力 1頁 1/68行 1列 残りメモリー 98%

統計情報の参照・編集に関する5つの切り換えモード

- f-1 Jump
- f-2 削除
- f-3 コピー
- f-4 移動
- f-5 ページ句切り
- f-6 文字入れ
- f-8 ファイル保存読込
- f-9 検定情報の編集・出力
- f-10 前画面へ

部分 全体

ブロックジャンプ
ページジャンプ
先頭行
末尾行

保存 読込

【印刷編集】
印刷範囲: [] 部分印刷
頁指定: [] [] [] [] [] [] [] [] [] []
印刷モード: [] 標準印刷
印刷密度: [] ぴったり [] 縮小 [] 拡大 [] 任意
印刷のサイズ: [] 縦向き [] 横向き [] 両向き
印刷の向き: [] 縦向き [] 横向き [] 両向き
1行文字数: [] 16-127 [] 00 文字幅: [] 0.01mm
1行行数: [] 3-65 [] 50 1行 行数: [] 1.71mm
左マージン: [] 0-125 [] 20 mm
右マージン: [] 0-125 [] 20 mm
左マージン: [] 0-83 [] 20 mm
右マージン: [] 0-83 [] 20 mm プリント機種: NECIB/GP(R10)系

図説F：ディレクトリの使い方

(D: ¥)

ファイル名	ファイル名	ファイル名	ファイル名						
① ファイル名	ファイル名	ファイル名	ファイル名						
GOT .DAT	GRPH.LIMG.DAT	SF .EXE	SF .OVL						
SF .HID	SF .HLP	SF .FNT	SF .PRN						
② ファイル名+時間	ファイル名	日付	時間						
GOT .DAT	GRPH.LIMG.DAT	89-07-24	16:12						
SF .EXE	SF .OVL	89-08-20	14:24						
③ ファイル名+時間+付加情報	ファイル名	日付	時間	タイトル	編集開始	型	行列	頁	
GOT .DAT	GRPH.LIMG.DAT	89-09-21	18:04	運動前後の血中	89-07-19	2	6	5	1
尿中n f.DAT	SF .OVL	89-08-31	12:04	尿中メタネフリ	89-08-24	2	5	6	1

指定ディレクトリ表示

[204 KB 空]
ディスク残り容量

統計データ読込：ファイルを選択して下さい

期間制限 [なし] あり: 過去 [] 月 任意 [] 年 [] 月 [] 日
表示内容 [ファイル名 + 時間 + 付加情報] ドライブ [A B C D]
ソート条件 [名前 時間 拡張子] パス名変更 [Tree表示] キー入力
ソート方向 [昇順 降順] 拡張子 [dat]

中止=ESC 条件変更=HOME パス名変更=TAB 説明=HELP

ソート条件
名前: ファイル名を英数字の順
時間: 最後に書き込んだ時間順
拡張子: 拡張子を英数字順

ツリー表示
サブディレクトリーの樹技図から選択して変更
キー入力
パス名をキー入力

ソート方向
昇順: 数字、英字(大小区別なし)の先頭から並べ換えます(0 1 2 3...9 ABCD...Z)
降順: 英字、数字の最後から先頭に向けて並べ換えます(Z Y X...A 9...2 1 0)

統計情報の参照・編集に関する5つの切り換えモード

- 統計情報の記録 (常時有効) CTRL-O
- 文字入力モード=f・6 (統計情報編集内で有効)

通常編集モード

文字入力モード

- 改行マークの切替=CTRL+L (統計情報編集内で有効) 改行マークは黄色の矢印↓で表示、その右側領域は水色表示
- 画面切替=f・8またはGRPH (統計処理内で有効)
- 書き込みモードの切り換え=INS (常時有効)

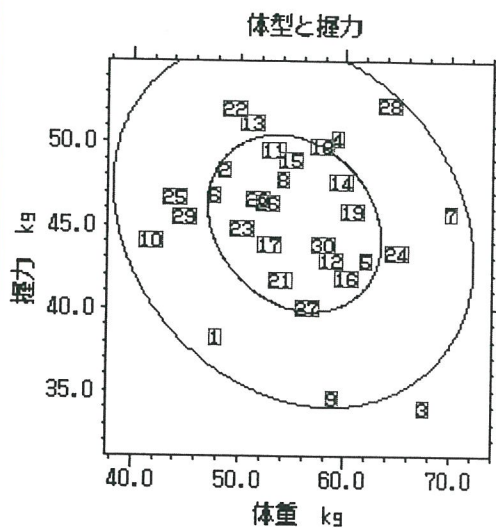
重ね書き

挿入

図説G：グラフ処理機能

StatFlex オリジナルフォント一覧

番号表示機能



StatFlexオリジナルフォント

大 ABCDEF abcdef 12345
 ● ○ ◎ ■ □ ▣ α β γ μ

標準 ABCDEF abcdef 12345
 ● ○ ◎ ■ □ ▣ α β γ μ

中 ABCDEF abcdef 12345
 ● ○ ◎ ■ □ ▣ α β γ μ

小 ABCDEF abcdef 12345
 ● ○ ◎ ■ □ ▣ α β γ μ

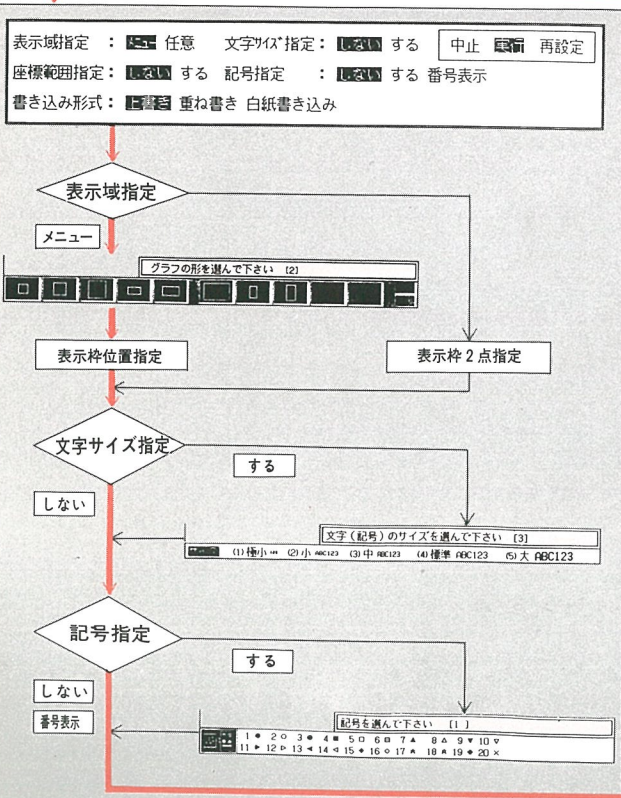
記号・文字 125種 × 5サイズ

0	□	▽	×	σ	∅	2	∠	F	P	Z	d	n	X
1	●	▽	∩	∪	3	E	G	Q	L	e	o	U	
2	○	▽	∩	∪	*	4	∠	H	R	¥	f	p	Z
3	◎	▽	∩	∪	!	+	5	∠	I	S	l	g	q
4	■	▽	∩	∪	"	.	6	@	J	T	∧	h	r
5	□	▽	∩	∪	#	-	7	A	K	U	∩	i	s
6	□	▽	∩	∪	\$.	8	B	L	U	∩	j	t
7	▲	▽	∩	∪	%	/	9	C	M	W	a	k	U
8	△	▽	∩	∪	&	0	:	D	N	X	b	l	v
9	▽	▽	∩	∪	'	1	:	E	O	Y	c	m	w

注 コード0、31はシステム用

【ハードコピー】
 印刷範囲 : 全体
 印刷モード : 白黒階調 カラー
 コピーサイズ : 縮小 拡大 変形拡大
 用紙のサイズ : B5横 A4縦 B4横 10of
 プリント機種 : NECIB/OP (PR101)系

- f-1 グラフ表示の設定
- f-2 文字・記号入
- f-3 グラフの部分消去
- f-4 復活
- f-5 群選択
- f-6 グラフ表示の設定
- f-7 図形式の設定
- f-8 グラフの保存と読み込み
- f-9 グラフの印刷
- f-10 前画面へ



文字

文字 : []
 サイズ : 極小 * 小 中 大 AB
 方向 : 縦方向 横方向 形式 : 重ね書き

記号

記号を選んで下さい [標準] ↑↓でサイズ切換 [12]

1 ● 2 ○ 3 ◎ 4 ■ 5 □ 6 ▣ 7 ▲ 8 △ 9 ▼ 10 ∇ 11 ∩ 12 ∪ 13 ∠ 14 ∅ 15 ∅
 16 ∅ 17 * 18 + 19 ÷ 20 × 21 ± 22 ≡ 23 ≧ 24 ≦ 25 ≧ 26 ≦ 27 ∞ 28 ∞ 29 μ 30 σ

線

線の種類を選んで下さい [1]

1 — 2 - - 3 4 - - - 5 - - - 6 - - - 7 - - - 8 - - - 9 - - - 10 - - -
 11 - - - 12 - - - 13 - - - 14 - - - 15 - - - 16 - - - 17 - - - 18 - - - 19 - - - 20 - - -

スクリーントーン

パターンを選んで下さい [1]

1 [] 2 [] 3 [] 4 [] 5 [] 6 [] 7 [] 8 [] 9 [] 10 []
 11 [] 12 [] 13 [] 14 [] 15 [] 16 [] 17 [] 18 [] 19 [] 20 []

グラフオプションの設定

線の幅 太
 線の色 青 赤 紫 緑 淡青 白
 点(記号)の色 青 紫 緑 淡青 黄 白
 点の大きさ 小 大
 ヒストグラム級分密度 粗 標準 密
 級分数 [30]
 SD, SEの表示 OFF SE
 平均値の表示 OFF
 タイトル表示 OFF

グラフオプションの設定

変数名表示 OFF
 単位表示 OFF
 座標軸表示形式 BOX X軸 Y軸 原点中心にX,Y軸
 目盛り表示 OFF
 網目表示 ON
 数値表示 OFF
 密度 粗 密 任意
 目盛り数 [20]

便利キー

- 取消(復活)機能の切換 = **SHIFT+f・4**
- 取消機能作動状態 = f・4または**CTRL+U**が使えます。
- 取消機能停止状態
- マウス利用の切換 = **CTRL+L**
- 直前処理の繰り返し = **CTRL+R**